

切れ目ない支援（取組）について ～つながる・ひろがる あさおプロジェクト～

あさお
発表者 神奈川県立麻生支援学校 教頭 石上 卓矢

- 1 学校概要・基本情報
- 2 切れ目ない支援（取組）と学校運営協議会について
- 3 実践事例
「児童・生徒への丁寧なかかわりのスタンダード」
- 4 今後にむけて



ジョン

王禅寺虹子

柿生あさお

学校所在地	児童生徒数	学校運営協議会		
		設置年度	委員数	年間開催回数
神奈川県川崎市	268名	令和2年度	10名	3回

学校教育目標

- 児童・生徒一人ひとりが「わかった」「できた」を実感できる授業の実践・研究の推進
- 児童・生徒一人ひとりが「自分を大切にする力」「他者を思いやる力」「社会とかがわる力」を育成する児童・生徒指導・支援の実践
- 児童・生徒一人ひとりの障害の状態、発達の段階に応じた進路指導・支援の実践
- 児童・生徒一人ひとりが日々の学習で得た成果を地域に向けて発信し、培った力を地域社会に貢献する等、地域との協働を実践する取組の推進
- 児童・生徒一人ひとりが安全に学ぶことができる学習環境を管理・整備する取組の推進

学校・地域の特徴

- 所在地：神奈川県川崎市北西部
- 平成17年開校（本年度で20周年）
- 肢体不自由教育部門
知的障害教育部門
- 小・中・高等部
分教室・訪問教育
- 川崎市4区、横浜市4区から児童生徒は通学
- 「共生社会の実現」を目指し教育活動を展開



学校運営協議会の概要

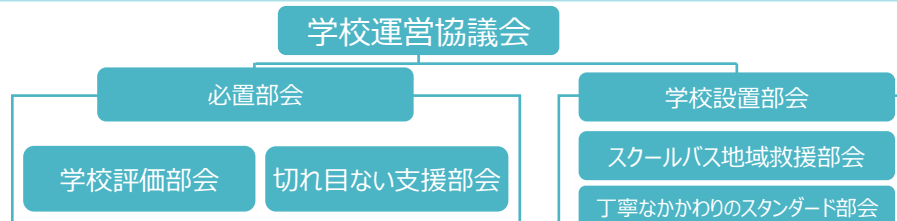
委員の構成

- 近隣大学教授
- 近隣町内会会長
- 学識経験者
- 子ども文化センター館長
- NPO法人事業所関係者
- 近隣企業関係者
- 関係行政機関職員
- 社会福祉協議会職員
- PTA会長
- 当該校長

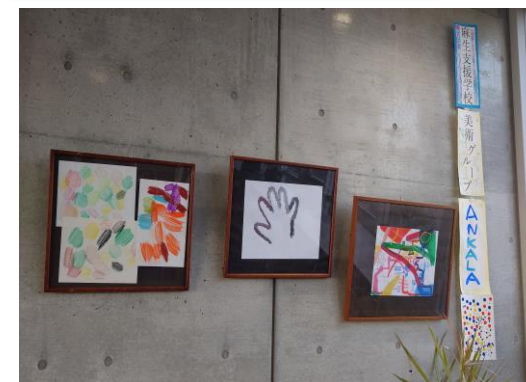
これまでの主な議題例

- 学校教育計画等について（学校評価部会）
- 今年度の取り組みについて（切れ目ない支援部会）
- 災害時におけるスクールバスの運行・支援体制について（学校設置部会）
- 丁寧なかかわりのスタンダードについて（学校設置部会）

組織図



地域学校協働活動の 特徴的な取組や工夫など



- ・作業学習で制作した作品を近隣の大学に展示（高等部）
- ・近隣小学校児童との交流（小学部）
- ・近隣小学校、高齢者施設、公園などの清掃活動（分教室）
- ・近隣高校に分教室の紹介（分教室）

麻生支援学校グランドデザイン

2024→2027

共生社会の実現



学校所在地	児童生徒数	学校運営協議会		
		設置年度	委員数	年間開催回数
神奈川県川崎市	268名	令和2年度	10名	3回

学校教育目標

- 児童・生徒一人ひとりが「わかった」「できた」を実感できる授業の実践・研究の推進
- 児童・生徒一人ひとりが「自分を大切にする力」「他者を思いやる力」「社会とかわる力」を育成する児童・生徒指導・支援の実践
- 児童・生徒一人ひとりの障害の状態、発達の段階に応じた進路指導・支援の実践
- 児童・生徒一人ひとりが日々の学習で得た成果を地域に向けて発信し、培った力を地域社会に貢献する等、地域との協働を実践する取組の推進
- 児童・生徒一人ひとりが安全に学ぶことができる学習環境を管理・整備する取組の推進

学校・地域の特徴

- 所在地：神奈川県川崎市北西部
- 平成17年開校（本年度で20周年）
- 肢体不自由教育部門
知的障害教育部門
- 小・中・高等部
分教室・訪問教育
- 川崎市4区、横浜市4区から児童生徒は通学
- 「共生社会の実現」を目指し教育活動を展開



学校運営協議会の概要

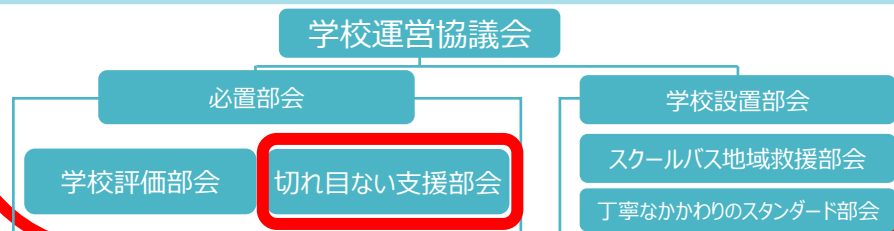
委員の構成

- 近隣大学教授
- 近隣町内会会長
- 学識経験者
- 子ども文化センター館長
- NPO法人事業所関係者
- 近隣企業関係者
- 関係行政機関職員
- 社会福祉協議会職員
- PTA会長
- 当該校長

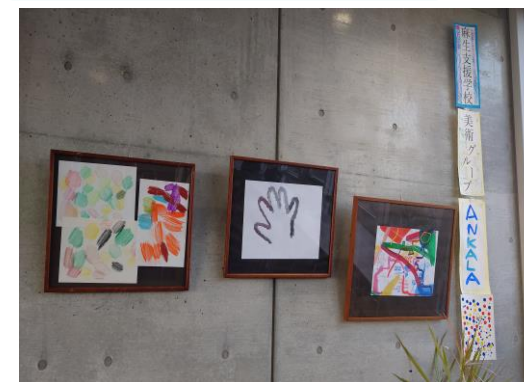
これまでの主な議題例

- 学校教育計画等について（学校評価部会）
- 今年度の取り組みについて（切れ目ない支援部会）
- 災害時におけるスクールバスの運行・支援体制について（学校設置部会）
- 丁寧なかかわりのスタンダードについて（学校設置部会）

組織図



地域学校協働活動の 特徴的な取組や工夫など



- ・作業学習で制作した作品を近隣の大学に展示（高等部）
- ・近隣小学校児童との交流（小学部）
- ・近隣小学校、高齢者施設、公園などの清掃活動（分教室）
- ・近隣高校に分教室の紹介（分教室）

1 教育課程 学習指導

- 校内研究…指導方法の工夫
- サポートマッチング…指導支援のアドバイス
- 個別教育計画作成スケジュール、書式の見直し
- ICT機器の活用

2 児童・生徒指導・支援

- ネット（SNS）マナー教室
- 学校間交流…近隣小学校
- いじめアンケートの実施
- 給食週間、給食試食会

学校運営協議会

3 進路指導・支援

- 社会体験学習…高等部2年対象、福祉施設
- 職業体験
 - …高等部1年対象、民間企業・社会福祉協議会・近隣大学等
- 企業見学会
 - …就労先候補の企業を見学（委員との連携）

切れ目ない支援部会

熟 議
情報の共有
助 言
意 見
連 携

4 地域等との協働

- 職業グループによる発表会、作品展示交流等（委員との連携）
- 近隣小学校、高齢者施設、公園などの清掃活動
- 分教室 インクルーシブ教育…近隣高校に分教室の紹介
- 20周年記念事業…ゲストティーチャー授業参加
 - ・近隣大学や消防署員の演奏会
 - ・近隣高校との美術作品交流展示

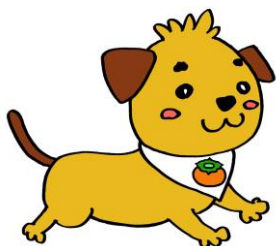
5 学校管理・学校運営

- 安心して学ぶことができる学校
 - …「児童・生徒への丁寧なかかわりのスタンダード」の見直し、活用（委員との連携）
- 安全な通学
 - …スクールバス災害時における関係機関との連携（高校・大学とのパートナーシップ協定）
 - ・行政機関による防災研修（委員との連携）

学校設置部会

児童・生徒への丁寧なかかわりの
スタンダード部会

スクールバス地域救援部会



「児童・生徒への丁寧なかかわりのスタンダード」

5つの視点から設定した、本校における児童・生徒への丁寧なかかわり方についての基準となるもの

令和7年4月

児童・生徒への丁寧なかかわりのスタンダード

麻生支援学校

児童・生徒を理解したかかわり

- 目を合わせることが難しい（苦痛を感じる）ことなど様々な理由でのコミュニケーションの困難さを認め、他者と双方向のやり取りする際の代替となるスキルを指導する。（ICT機器やコミュニケーションカード等の活用）
- こだわりの強い行動に対して、その原因を広い視野で探り、固執しなくて済む環境の設定や関心を他に向かわせる等の手立てをとっている。
- 児童・生徒の良いところを見出し、評価し、得意なことを伸ばす指導を行う。（よいところ探し）
- 不安な気持ちや落ち着かない気持ちをクールダウンできる環境を設定し、そこが児童・生徒にとって安心できる場所となっている。
- 言葉かけは簡潔にし、過度な刺激にならないことや肯定的であることを意識している。
- 児童・生徒の姿勢など、特性に応じた教材の示し方を工夫するとともに、スモールステップを意識して指導している。

人権に配慮したかかわり

- 年齢や性別、場面（授業・日常生活）を分けて実践している。（さん付け呼称等）
- 教員の言葉かけが見本になっていることを意識し、児童・生徒への言葉かけは「です、ます」調で丁寧に行っている。
- 発する一言や態度が、相手を傷つけることがないように常に自分自身を振り返っている。
- 児童生徒の気持ちに寄り添い、児童生徒からの表出（選択肢、言葉に限らず表情、わずかな動き、心拍数など）を待ちかかっている。
- 児童・生徒が自分を大切に、自分を守ろうとする意識と力を身に付けられるような指導を心掛けている。
- 相手の気持ちを考えて、同じ目線でやり取りや行動することを大切にしている。

性差・年齢に配慮したかかわり

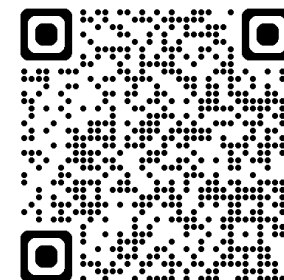
- 使用目的を明確にして年齢や発達段階に応じた教材、教科書、選曲の選定をしている。
- ジェンダーに配慮した言葉かけや学習環境の設定など対応を基本としている。
- 移動時の介助（手つなぎ等）は、歩行の実態や安全認知に応じて行い、なるべく見守りを主とした対応に心がけている。
- 児童・生徒が自分でできることを増やし（できるための過不足のない支援・適切な信頼）、家庭や学校において役割を果たし、人の役に立っているという意識を醸成する。
- 異性に対しての適切な接し方や、双方に安心感のある人との距離の保ち方を具体的に示し、指導を行っている。
- 年齢に合った接し方や言葉遣いを行っている。
- 発達段階に応じた性教育を学ぶ機会を設け、教員の意識を高めている。

児童・生徒の不適応行動に対する適切なかかわり

- 児童・生徒の行動の背景を探り、言葉に耳を傾け、寄り添う姿勢を示している。
- その時の子どもにとっては緊急事態であること、困っているのはその子どもであることを理解している。
- 教員が落ち着いて対応することを心掛けることで、児童・生徒の興奮を鎮めること、怪我や事故に遭わないことを大事にしている。
- 他害行為の対象となってしまった場合は、他の教員と対応を変えている。
- 「パニック」という言葉でまとめず、原因を探り、行動の背景を具体的に捉えて不適応行動の除去に努めている。
- 周囲にいる児童生徒への支援も考慮し、複数人の教員で連携して対応するとともに一貫した支援ができるようにしている。

安全・安心な学習環境の整備

- 校内外の危険箇所の把握を常に行い、安全を確保する環境面の整備をしている。
- 特性や健康状態により、子どもが出くわすかもしれない危険を予想している。
- 車椅子や装具などの点検を定期的実施し、安全に過ごすことができるように努めている。
- 児童生徒の目線を意識し、環境を整え、目から入る情報の整理（ナッジの視点など）をしている。
- 指導中、身に付けているものについて危険や刺激につながらないように留意し、安心、安全な指導を心がけている。



麻生支援学校HP
「丁寧なかかわりのスタンダード」

「児童・生徒への丁寧なかかわりのスタンダード」(各視点、一部抜粋)

◎ 児童・生徒を理解したかかわり

- 不安な気持ちや落ち着かない気持ちをクールダウンできる環境を設定し、そこが児童・生徒にとって安心できる場所となっている。

◎ 人権に配慮したかかわり

- 児童・生徒の気持ちに寄り添い、児童・生徒からの表出（選択肢、言葉に限らず表情、わずかな動き、心拍数など）を待ち、かかわっている。

◎ 性差・年齢に配慮したかかわり

- 使用目的を明確にして年齢や発達段階に応じた教材、教科書、選曲の選定をしている。

◎ 児童・生徒の不適応行動に対する適切なかかわり

- 児童・生徒の行動の背景を探り、言葉に耳を傾け、寄り添う姿勢を示している。

◎ 安全・安心な学習環境の整備

- 特性や健康状態により、子どもが出くわすかもしれない危険を予想している。

「児童・生徒への丁寧なかかわりのスタンダード」

▶年度当初に教員、保護者に配付。ホームページにも掲載。

▶令和4年度…作成

▶令和5年度…内容の実践。職員面談での確認。

会議における好事例の発表。

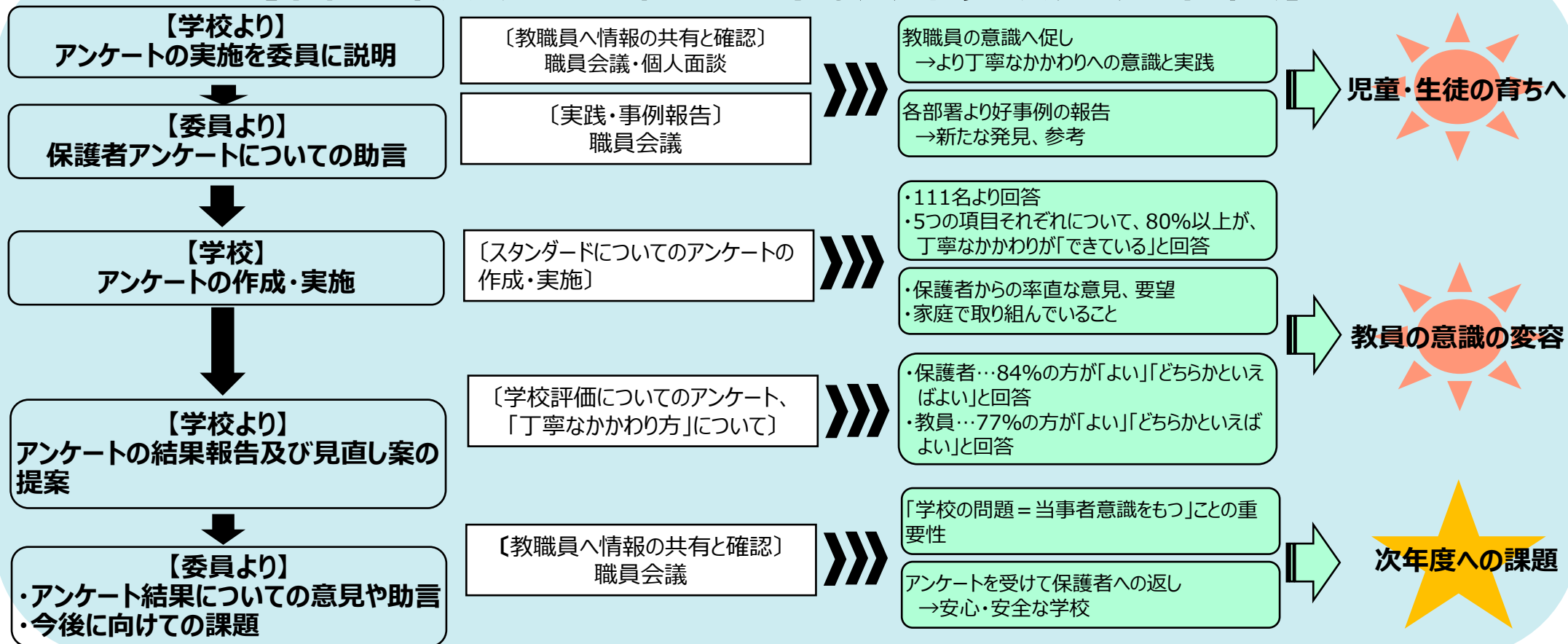
▶令和6年度…学校運営協議会「学校設置部会」のひとつとして、「**児童・生徒への丁寧なかかわりのスタンダード部会**」を設定。

保護者アンケートを行い、内容の見直しを実施。

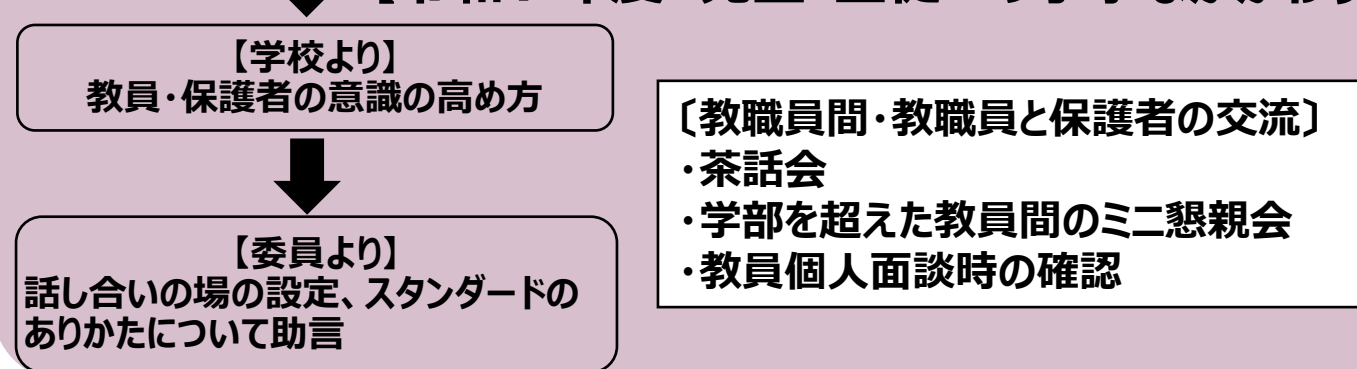
職員面談での確認。会議における好事例の発表。

▶令和7年度…改訂版の配付と実践。教職員の意識の向上にむけて検討。

【令和6年度 児童・生徒への丁寧なかかわりのスタンダード部会】



【令和7年度 児童・生徒への丁寧なかかわりのスタンダード部会】



「児童・生徒への丁寧なかかわりのスタンダード」(各視点、一部抜粋)

災害時（緊急時）の動きや対応につながるかかわり

◎ 児童・生徒を理解したかかわり

- 不安な気持ちや落ち着かない気持ちをクールダウンできる環境を設定し、そこが児童・生徒にとって安心できる場所となっている。

- ・児童・生徒の実態を把握し、落ち着ける環境を日常の中で検討
- ・不安な気持ちを伝えることができる方法、話せる人の確認 など

◎ 児童・生徒の不適応行動に対する適切なかかわり

- 周囲にいる児童・生徒への支援も考慮し、複数人の教員で連携して対応するとともに一貫した支援ができるようにしている。

- ・不適応行動に至る原因を究明し、一人ではなく複数人で対応する
- ・周囲の児童・生徒への説明と安心の提供 など

◎ 安全・安心な学習環境の整備

- 校内外の危険箇所の把握を常に行い、安全を確保する環境面の整備をしている。

- ・防災教育として避難ルートや校内外の危険箇所を児童・生徒とともに確認
- ・下校時における災害時の動きを確認 など

スクールバス地域救援部会

〔スクールバス走行時の災害発生時における救援について〕

【自助の取組】

- ・防災グッズの充実（紙パンツや水、ポータブルトイレ等）
- ・運転士、介助員の研修（心肺蘇生法）への参加
- ・GPS機器の導入

【共助の取組】

- ・防災パートナーシップに関する協定（近隣大学・近隣高校）
- ・子ども文化センターの利用（児童・生徒・バス）
- ・協力施設へのステッカー作成と配付

【公助の取組】

- ・区役所危機管理担当による防災研修（予定）

1 教育課程 学習指導

- 校内研究…指導方法の工夫
- サポートマッチング…指導支援のアドバイス
- 個別教育計画作成スケジュール、書式の見直し
- ICT機器の活用

2 児童・生徒指導・支援

- ネット（SNS）マナー教室
- 学校間交流…近隣小学校
- いじめアンケートの実施
- 給食週間、給食試食会

3 進路指導・支援

- 社会体験学習…高等部2年対象、福祉施設
- 職業体験
 - …高等部1年対象、民間企業・社会福祉協議会・近隣大学等
- 企業見学会
 - …就労先候補の企業を見学（委員との連携）

4 地域等との協働

- 職業グループによる発表会、作品展示交流等（委員との連携）
- 近隣小学校、高齢者施設、公園などの清掃活動
- 分教室 インクルーシブ教育…近隣高校に分教室の紹介
- 20周年記念事業…ゲストティーチャー授業参加
 - ・近隣大学や消防署員の演奏会
 - ・近隣高校との美術作品交流展示

育てたい力

自分を大切に
する力他者を
思いやる
力社会とか
かわる力

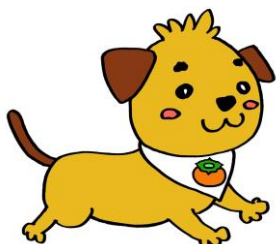
5 学校管理・学校運営

- 安心して学ぶことができる学校
 - …「児童・生徒への丁寧なかかわりのスタンダード」の見直し、活用（委員との連携）
- 安全な通学
 - …スクールバス災害時における関係機関との連携（高校・大学とのパートナーシップ協定）
 - ・行政機関による防災研修（委員との連携）

学校設置部会

児童・生徒への丁寧なかかわりの
スタンダード部会

スクールバス地域救援部会



◎ 今後にむけて（より意識しながら取り組みたいところ）

「キャリア教育の視点」で考える学校運営協議会の充実

- ・「切れ目ない支援部会」、「学校設置部会」すべてのことがキャリア教育につながっていることを学校運営協議会で共有。

「学校運営協議会の存在と重要性」に対する、教員や保護者の意識の向上

- ・学校運営協議会の内容や取組についての周知不足による意識の低さ
- ・発信の工夫、委員との定期的な情報交換等、継続した体制作り

様々な「学校運営協議会」の取組等、情報の収集（他県の情報）

- ・様々なアイデアや工夫についての情報の確保
- ・他校や他県の取り組みを紹介

◎ 今後にむけて（より意識しながら取り組みたいところ）

・「キャリア教育の視点」で考える学校運営協議会の充実

・「学校運営協議会の存在と重要性」に対する、教員や保護者の意識の向上

・様々な「学校運営協議会」の取組等、情報の収集（他県の情報）

情報共有・熟議の充実

+

児童生徒と地域との取り組みの充実

教職員及び保護者、地域の方々の理解が深まる

児童・生徒に「育てたい力」の育成につながる

ご清聴、ありがとうございました



麻生支援学校ホームページ

